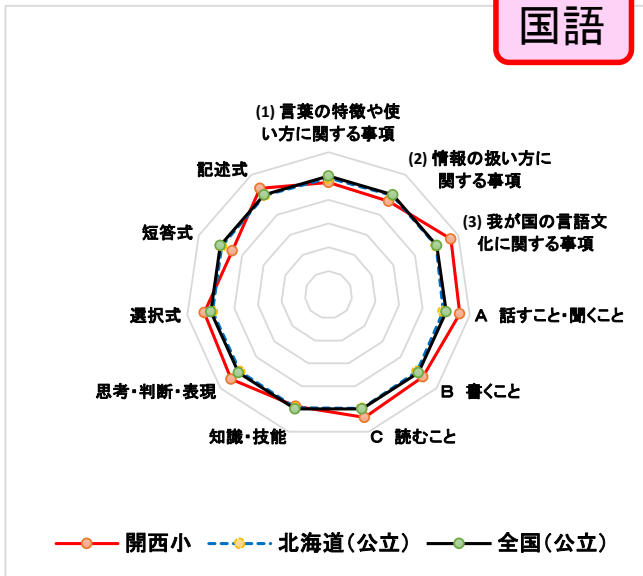


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について（4月18日実施）

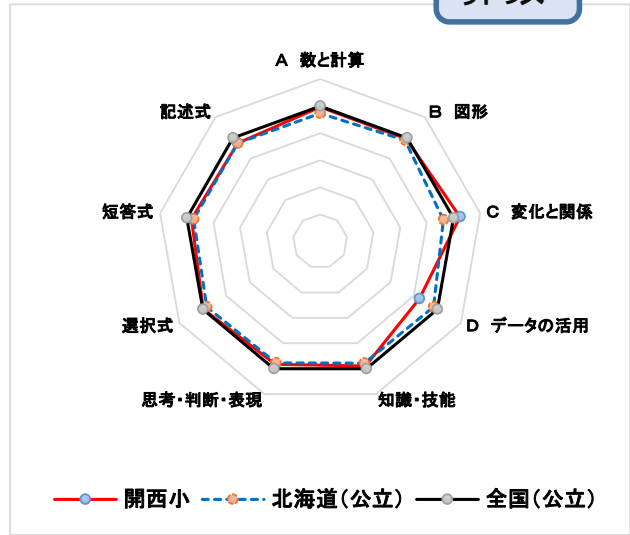
令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。なお、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

※ 全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」「そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」ことを目的とし、平成19年度より行われています。

## 国語



## 算数



## 児童質問紙より

「基本的生活習慣」や「友達関係が良好」「学校生活を前向きに過ごす」「いじめはどんなことがあってもいけないことである」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「今学んでいることは将来役に立つか」の項目で全国・全道よりも肯定的に回答した児童の割合が高く、「家庭学習などの学習習慣」「将来の夢や希望をもっている」という項目については課題が見られました。

## 今後のとりくみ

- 算数科については、比較・類推などの場面を意図的に設定して、論理的に筋道を立てて考える機会を増やす授業改革を進めます。
- 授業において、タブレット端末を思考ツールとして活用する場面を増やすとともに、児童一人一人が思考を深めるための時間を確実に確保します。
- 家庭学習の習慣化及び内容の充実を家庭と連携しながらさらに進めていきます。
- おびひろ市民学や出前授業など、外部人材の活用によるキャリア教育の推進をはじめ、身近なロールモデルとして、中学生との交流や地域の大人との交流の機会を積極的に設けることで、本校の重点目標「夢に向かって幸せに生きる力」の醸成に努めます。